漁港は
魚の保育園
http：//www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成21年6月15日　発行
毎月　1回15日発行
編集兼発行人　社団法人　全国漁港漁場協会
濱田研一
東京都港区赤坂1－9－13三会堂ビル8階
電話　東京（5114）9981
定価　1部　70円
（会員の購読料は会費の中に含む）

第66回通常総会開く

㈳全国漁港漁場協会　田中会長を再任

挨拶する田中会長

㈳全国漁港漁場協会は5月28日午後4時から、東京都内の第一ホテル東京で第66回通常総会を開き、漁港漁場功績者等の表彰を行った後、付議された平成20年度事業報告及び収支決算、平成21年度事業計画、収支予算及び会費等を原案どおり承認した。また役員改選を行い、田中潤兒会長、伏見悦夫副会長及び服部郁弘副会長を再任、新たに副会長に野村興兒山口県漁港漁場協会会長（萩市長）を選任した。

総会は、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、鈴木俊一自由民主党水産総合調査会顧問（㈳岩手県漁港漁村協会会長）、山田修路水産庁長官、服部郁弘㈳全国漁港漁場協会長、橋本牧水産庁漁港漁場整備部長、宇賀神義宣計画課長、高吉晋吾整備課長、本田直久防災漁村課長、岡貞行水産施設災害対策室長、高鳥修元漁港整備促進議員連盟会長らの来賓と約120名の会員等が出席して開催された。

開会後、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会が「経済の急速な悪化は、世界同時不況の様相を呈し、地域経済や雇用状況は急速に悪化している。水産物需要の不振や魚価低迷等により水産業は一段と厳しさが増している。国は、大型経済対策の中で「将来にわたって持続可能な力強い水産業の確立」を目指した対策を打ち出し、また、地方公共団体の厳しい財政状況に対応して、公共事業の地方負担軽減措置も検討していると聞く。全国漁港漁場協会としては、引き続き国の直轄事業による漁場整備、海や漁場の環境保全、漁獲物の品質・衛生管理対策の強化等とともに、地方負担の大幅軽減を政府や国会に強く要請していく。また、従来にも増して既存の漁港施設を活かした地域振興や環境保全などの課題にも取り組んでいきたい」と挨拶した。

衛藤議連会長、鈴木水産総合調査会顧問、山田水産庁長官が挨拶

続いて来賓の衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長（衆議院予算委員長）が「漁港漁場漁村整備促進議員連盟では、全国の漁港、漁場、漁村の整備促進に力を入れている。今回の補正予算でも、水産庁に大変頑張ってもらい水産関係で981億の補正予算を用意した。

水産業等の第一次産業は国の大本であり、少子高齢化社会に進んで行く中で、漁村は受け皿になると考え、議連では水産庁と協調し、中長期的な計画を設定して、逐年積み上げる努力をしていく考えである。

約15兆の補正予算が成立すれば、本予算88兆5千億と合わせて103兆の大型予算となる。政府・与党は、平成21年度GDPは510兆という目標を掲げ、これを達成する為に様々な工夫を凝らした重層的な予算、補正予算を用意した。IMFや世銀の調査では、日本のGDPは対前年度比マイナス6％以上だという数字も出されているが、我々は、今年度末に「510兆位の経済を達成したじゃないか」と言えるようにしなければならない。そのことが、水産業を押し上げる大きな力にもなる。

景気の低迷、魚価の低迷に加え安価な水産物の輸入というダブルパンチであり、また漁港・漁場でも地球温暖化等によりこれまでにない現象が起きている。先般、議連で鹿児島県の漁港等を視察し、現場の方々の苦労話を聞いて、更に漁港漁場の整備をしなければならないと思った。間もなく平成22年度の予算編成に向けた動きが始まるが、議連として皆様の考えや要請が予算に反映されるよう力一杯頑張る」と挨拶を述べた。

続いて、鈴木俊一自民党水産総合調査会顧問・漁港漁場漁村整備促進議員連盟副会長が、「先ず景気を良くすることが魚価の上昇に繋がる。また、安定的な予算措置によって漁港漁場整備を進められることが一番の基本だと認識している。

㈳岩手県漁港漁村協会では、毎年夏に県下の事業実施中の漁港や新規採択予定の漁港を視察し、漁業者の意見を聞き、漁港整備に役立てる「漁港検診」を長年続けている。従来は4、5日を要したが、最近は事業を実施している漁港が少なく、2泊3日で終了してしまう。21年度も漁業構造改革など非公共予算に100億円程度の水産基盤整備予算が廻され、全体の事業費が縮小している。

しかし、漁港や漁場の整備をもう少し進めたいという漁業者の要望と需要はあり、予算の手当さえ出来れば、事業を行う余地は大きい。漁港漁場整備には時代時代で求められる様々な姿があり、整備に終わりはないと感じる。今日、漁港漁場整備に求められることは、例えば高齢漁業者の水揚げ作業軽減のため浮き桟橋を設置することや、漁港に近い消波堤の内側等に磯根資源の漁場を整備し、高齢者が漁港近くで操業出来るようにすることなどである。漁港と漁場の有機的な連携での整備や、消費者の求める安心安全な水産物を提供できる高度に衛生管理された「HACCP対応の産地市場整備、また防災面など時代の変遷に対応した漁港漁場整備の姿があり、需要は沢山ある。予算を有効に使い最大限の効果が上げられるよう、議連としても衛藤会長を中心に、水産庁と協力しながら全国の漁港漁場整備が今日の要請にあった形で進むよう一生懸命頑張っていく」と挨拶した。

衛藤議連会長

鈴木水産総合調査会顧問

山田長官

次に、山田修路水産庁長官が「水産業が厳しい中にあって、その基盤となる漁港漁場整備は極めて重要。また、漁港漁場は漁業生産や地域活性化の基盤だけでなく、環境や文化を守り、地域住民に憩いの場を提供する等の多面的な役割を果たしている。そういう意味からも整備を進めて行く必要がある。

漁港漁場漁村の整備には様々な対策を講じているが、例えば日本海西部海域での直轄の漁場整備の拡大、水産物の品質・衛生管理をしっかりできる体制の漁港へ改善や、既存施設に更に機能を発揮できるよう手を加え長寿命化させること等も重要な課題と考え、必要な予算を確保している。また、今年度から環境生態系保全のための直接支払い制度も実施することとし、現在具体的な中身を詰めているところ。これら当初予算で実施するものに加え、補正予算についても様々な対策を講じている。1千億に近い補正予算も先生方のお陰で確保できたので、予算を漁港漁場整備、漁村の活性化の為にぜひ活用願いたい。協会の会員の皆様もそうした活動に参加し、様々な施策を活用して、地域活性化に役立てて欲しい」と挨拶を述べた。

来賓の紹介後、全国漁港漁場協会表彰規程に基づく平成21年度表彰が行われ、漁港漁場功績者41名、優秀漁港漁場事業3機関、漁港漁場愛護運動等4団体に対し、田中会長から賞状と記念品が贈呈された（受賞者名簿を2面に掲載）。

全議案を提案どおり議決

総会議事に入り、議長選任が田中会長に一任され、藤本昭夫㈳大分県漁港協会会長が議長に指名された。議長は、浅野恒郎㈳千葉県漁港漁場協会会長と大神憲章徳島県漁港漁場協会会長の両氏を議事録署名人に指名し、議事を進めた。

第1号議案「平成20年度事業報告及び収支決算承認の件」について、小野寺喜一郎監事（前山形県漁港漁場協会会長）の監査報告を受け、原案どおり承認した。次に第2号議案「平成21年度事業計画、収支予算及び会費3号議案「役員報酬額承認の件」を審議し、いずれも原案どおり承認した。続いて第4号議案「役員選任の件」について、事務局が5月13日の第1回理事会で承認された基本的な考え方に基づき次期役員候補者案を提示し、審議の上これを了承した。その後、理事は別室において会長、副会長3名、専務理事及び常務理事の互選を行い、田中潤兒会長、伏見悦夫副会長、服部郁弘副会長を再任、新任の山口県漁港漁場協会会長に野村興兒山口県漁港漁場協会会長を選任し、濱田研一専務理事を再任した。その旨を総会で報告して通常総会を閉会した。

懇親会に石破農林水産大臣が出席

総会後、同ホテル内で、全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会との合同懇親会が行われた。

田中潤兒全国漁港漁場協会会長の挨拶の後、多忙の中出席された石破茂農林水産大臣が「世界で6番目の排他的経済水域を有し、有数の好漁場を持つ日本は、漁業にとって恵まれた国である。皆で知恵を出して食料自給率を高めたい」と挨拶した。

続いて、北村誠吾漁港漁場漁村整備促進議員連盟事務局長（防衛副大臣）が挨拶し、伏見悦夫副会長の発声で乾杯した。また、杉浦正健衆議院議員（愛知県漁港漁場協会会長）、高鳥修元漁港整備促進議員連盟会長も挨拶し、表彰受賞者を交えて和やかに歓談した。

挨拶する石破農林水産大臣

（社）全国漁港漁場協会役員名簿

（平成21年5月30日）

会長	田中	潤兒
副会長	伏見	悦夫（北海道漁港漁場協会会長）
同	野村	興兒（山口県漁港漁場協会会長理事）
同	服部	郁弘（全国漁業協同組合連合会代表理事会長）
専務理事	濱田	研一
常務理事	田村	安雄
理事	村田	駿（北海道漁港漁場協会副会長）
同	越善	靖夫（㈳青森県漁港漁場協会会長）
同	甘竹	勝郎（㈳岩手県漁港漁場協会副会長理事）
同	盛合	敏子（㈳岩手県漁港漁村協会理事）
同	佐藤	一誠（秋田県漁港漁場協会会長）
同	當摩	栄一（㈳新潟県水産振興協会会長）
同	堂故	茂（富山県漁港漁場協会会長）
同	浅野	恒郎（㈳千葉県漁港漁場協会会長）
同	清水	泰（静岡県漁港漁場協会会長理事）
同	稲葉	輝喜（三重県水産基盤整備協会会長）
同	望月	良男（和歌山県漁港漁場協会会長）
同	中田	勝久（兵庫県漁港協会副会長）
同	宇津	徹男（島根県漁港漁場協会会長）
同	東川	幸子（広島県漁港協会理事）
同	中畑	保一（愛媛県漁港漁場協会会長）
同	仙頭	義寛（高知県漁港漁場協会会長理事）
同	阿部	周一（㈳福岡県漁港漁場協会副会長）
同	安田	公寛（熊本県漁港漁場協会会長）
同	藤本	昭夫（㈳大分県漁港協会会長）
同	井上	俊昭（㈳長崎県漁港漁場協会会長理事）
同	田畑	誠一（鹿児島県漁港漁場協会会長理事）
同	上原	裕常（㈳沖縄県漁港漁場協会会長理事）
同	栢原	英郎（㈳日本港湾協会会長）
同	あん・まくどなるど（国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット所長）	
監事	亀山	紘（宮城県漁港漁場協会理事副会長）
同	富塚	陽一（山形県漁港漁場協会会長理事）
同	吉田	英男（神奈川県水産振興促進協会会長）
同	関	敬信（福井県漁港漁場協会会長）

第17回通常総会を開催

全国漁港海岸防災協会

挨拶する伏見副会長と来賓

全国漁港海岸防災協会の第17回通常総会が、５月28日午後３時から東京都内の第一ホテル東京において、山田修路水産庁長官、橋本牧漁港漁場整備部長、本田直久防災漁村課長、岡貞行水産施設災害対策室長を来賓に迎えて開かれた。

佐藤孝行会長が欠席のため、伏見悦夫副会長が挨拶し、「最近は、国内外で地震災害や高波災害などこれまでにない規模の大きな災害が増えているようだ。地球温暖化による気象変化の激しさも増し、災害への備えが一層重要になっている。

20年度の当協会は、全国漁港漁場協会と協力して、ハード対策の推進と人命安全を第一とした避難等の重要性の啓発に取り組んだ。全国海岸事業促進連合協議会が開催した第12回海岸シンポジウムでは、当協会が事務局の幹事を務めたが、水産庁ほか関係省庁の御指導と皆様の協力により成功裏に開催でき、お礼申し上げる。

21年度は、全国漁港漁場協会と協力して、防災対策の推進と、避難等の重要性の啓発に重点的に取り組みたい。平成22年度の漁港海岸・災害復旧予算の確保と施策の拡充強化のため、全国漁港漁場協会及び都道府県漁港関係協会と連携を密にして、予算対策運動を積極的に進めていくので、よろしくお願いする」と述べた。

続いて来賓の山田修路水産庁長官が「貴協会が設立以来、漁港海岸事業や水産関係災害復旧事業の推進に精力的に取り組み、漁港・漁村の発展に着実な成果をあげてきた。関係者の尽力に深く敬意を表する。

我が国水産業・漁村は、水産物の安定供給とともに、環境・生態系の保全、地域経済の振興、都市住民との交流の場の提供など多面的な機能の発揮を通じ、国民の生活向上に大きく寄与している。

一方、水産業・漁村を巡っては、資源状況の低迷、漁業生産構造の脆弱化に加え、世界的な景気減退による水産物価格の低迷など情勢は厳しさを増している。

水産庁としては、情勢の変化に的確に対応し、力強い水産業と豊かで活力ある漁村の確立を図るため、構造改革の推進等による漁業経営の体質強化、加工・流通・消費対策の強化、水産資源の回復・管理の推進、漁港・漁場・漁村の総合的整備の推進、新たな環境・生態系保全対策の創設など、積極的な水産政策を着実に進めていく。

漁港海岸・防災事業に関しては、海岸施設の整備による津波・高潮からの被害軽減等を盛り込んだ「社会資本整備重点計画」が３月に閣議決定された。また、第二次漁港漁場整備長期計画では、避難地、避難路等の防災関連施設の整備など漁村の防災力の強化の推進を柱の一つとして位置づけ、安全で安心な漁村の形成を進めている。漁港海岸事業と水産関係災害復旧事業の円滑な推進には、皆様方の一層の理解と協力が必要であり、今後とも協会の尽力をお願いする」と祝辞を述べた。

来賓紹介の後、関敬信福井県漁港漁場協会会長（越前町長）を議長に選出し、浅野恒郎㈱千葉県漁港漁場協会会長（勝浦漁協組合長）と岡田好平香川県漁港協会会長（土庄町長）を議事録署名人に指名して議事に入った。

第1号議案「平成20年度会務報告及び収支決算の承認に関する件」を、山崎耿二郎監事（茨城県漁港協会専務理事）の監査報告を受けた後、原案どおり承認したのをはじめ、第2号議案「平成21年度事業計画、収支予算及び会費の承認に関する件」及び第3議案「役員報酬の額の承認に関する件」を一括して審議し、いずれも原案どおり承認した。

次に、第4号議案「規約の一部改正の承認に関する件」を原案通り承認した後、第5号議案「理事及び監事の改選に関する件」が諮られ、事務局から示された次期役員候補者案を承認した。別室で理事による会長、副会長３名、専務理事の互選を行い、佐藤孝行会長、伏見悦夫副会長、當摩栄一副会長、中村勝治副会長及び濱田研一専務理事を再選、総会で報告した。

以上をもって第17回通常総会を終えた。

田中会長より感謝状を贈呈

受賞者の皆さん

全国漁港海岸防災協会役員名簿

（平成21年5月30日）

会長	佐藤　孝行	（元衆議院議員）
副会長	伏見　悦夫	（北海道漁港漁場協会会長）
同	當摩　栄一	（社）新潟県水産振興協会会長理事）
同	中村　勝治	（鳥取県港湾・漁港協会会長）
専務理事	濱田　研一	
理事	櫛田　一男	（福島県港湾漁港協会会長）
同	中村　清志	（東京都漁港漁場協会専務理事）
同	新田谷修司	（大阪府漁港漁場協会会長）
同	田中　達美	（広島県漁港協会会長理事）
同	大神　憲章	（徳島県漁港漁場協会会長）
同	坂井　俊之	（佐賀県漁港漁場協会会長）
同	内野宮正英	（宮崎県漁港漁場協会会長）
監事	山崎耿二郎	（茨城県漁港協会専務理事）
同	高木　直矢	（岡山県港湾漁港協会理事）

平成21年度受賞者一覧

○ 功績者（敬称略）

1. 表彰規程第５条第１項(1)該当者

漁港漁場協会役員（15名）

勤続10年以上

協会名	役職名	氏名
北海道漁港漁場協会	副会長	石井貴司
〃	理事	千葉光悦
(社)岩手県漁港漁村協会	理事	上杉芳治
〃	理事	熊坂義裕
宮城県漁港漁場協会	専務理事	鈴木昇
(社)千葉県漁港漁場協会	会長	浅野恒郎
神奈川県水産振興協会	理事	木村和一
福井県漁港漁場協会	監事	坂本重男
鳥取県港湾・漁港協会	副会長	伊藤英郎
〃	副会長	榎本武利
〃	監事	船本幸作
広島県漁港協会	理事	沼井昭枝
香川県漁港協会	理事	鳴野勝美
高知県漁港漁場協会	理事	桑岡邦男
〃	監事	道津満

2. 表彰規程第５条第１項(2)該当者

漁港漁場協会職員（３名）

① 勤続30年以上(1名)

協会名	役職名	氏名
(社)青森県漁港漁場協会	総括主幹	高橋猛

② 勤続20年以上(2名)

協会名	役職名	氏名
(社)青森県漁港漁場協会	主幹	成田靖子
鳥取県港湾・漁港協会	書記	笠史子

3. 表彰規程第５条第１項(3)該当者

市町村職員（23名）

① 勤続30年以上(5名)

市町村名	役職名	氏名
北海道網走市	水産港湾部長	加藤篤敏
青森県平内町	総務整備課長	朝田登司
茨城県大洗町	農林水産課主査兼係長	綿川茂
愛媛県今治市	水産課課長補佐	赤瀬圭吾
鹿児島県和泊町	土木課長	嘉信勝一

② 勤続20年以上(7名)

市町村名	役職名	氏名
北海道松前町	産業振興課水産グループ主査	渡邊孝行
青森県むつ市	水産課経営主幹	二本柳晃
宮城県女川町	建設課上下水道係長	木村浩吉
秋田県男鹿市	下水道課課長補佐	秋山信悦
兵庫県明石市	水産担当課長	中野明博
愛媛県今治市	産業建設課長	森浩博
徳島県志摩町	産業振興課課長補佐兼水産係長	信中鶴見

③ 勤続10年以上(11名)

市町村名	役職名	氏名
北海道雄冬町	産業課農政担当業務係長	水下聖
青森県おいらせ町	農林水産課参事・漁港整備係長	川村淳一
岩手県陸前高田市	水産課副主幹兼漁港係長	平立身
秋田県男鹿市	農林水産課農地施設係主査	船木秀晃
石川県七尾市	農林水産課主幹	上村志隆
和歌山県御坊市	下水道課主任	寺段晋生
兵庫県姫路市	水産漁港課主任	梶隆行
愛媛県愛南町	水産課課長補佐	中川也雄
福岡県築上町	建設課補佐	田中清志
長崎県島原市	農林水産課主査	松村和啓
鹿児島県日置市東市来支所	農林水産課課長補佐兼林務水産係長	池田敏郎

○ 優秀漁業協同組合事業

表彰規程第５条第２項該当機関（３機関）

協会名	漁種名	受賞機関	事業名
青森県	大型曳縄（第３種）	青森県下北地域県民局地域農林水産部下北地方漁港漁場整備事務所	大間漁港地区災害復旧事業
	（事業内容） 優良証による活断層破壊に対し、過去の破壊実績を踏まえ、実績災国際基準を含めた設計復旧が認められ、工法として「押さえ盛石工法」が大規模工事として全国で初めて採用。この工法は、施設の安全性、経済性が高く石材投入のみで効果があり、迅速な復旧工事に適したもので、押さえ盛石は漁場機能が早く回復し、水産生物の資源の増大としての機能が期待される。		
岩手県	刺し網漁業（第１種）	大船渡市農林水産部水産課	大船渡市地区地域水産物供給基盤整備事業
	（事業内容） 既設物揚岸は、天端高が低く、満潮時には陸上に荷下ろし作業ができず漁業活動に障害。また物揚岸の老朽化が著しいことから、本体構造を変更して早期の復旧工事を実施するなど、困難な施工環境下で実施。漁業活動の利便性が図られ、水産業の発展と地域振興への貢献が期待される。		
兵庫県	採取漁業（第２種）	兵庫県西播磨県民局姫路農林水産振興事務所	家島漁港広域防波堤整備事業
	（事業内容） 漁獲された魚種の付加価値を高めるため、蓄養生け簀を設けて出荷調整に取り組むが、漁港区域内では設置可能な静穏海域が不足。工事は、防波堤に隠蔽し海水交換可能な構造とし、潮間帯に消波ブロック被覆及び内湾を浅海域を整備。静穏域を確保することにより、蓄養可能量を増大させ、小割生け簀の施設化による作業の効率化等に貢献。		

○ 漁港漁場整備適正運動等

表彰規程第５条第３項該当団体（４団体）

協会名	団体名	活動内容
北海道	えりも岬漁港 浦河管理協議会	昭和56年以来、えりも岬漁港周辺の清掃活動等を継続実施。昭和59年北海道漁港漁場協会表彰、平成８年度同特別表彰、平成16年度北海道知事感謝状を受賞するなど、その功績は顕著。
青森県	小泊漁協婦人部	設立以来、年間２回継続して海岸清掃を実施するほか数でのイベント開催時には臨時清掃などの活動を展開。 また、住み良い漁村をめざし他の婦人団体や生活改善グループ等と交流を重ね、資源の愛護運動に関する意識高揚と啓蒙活動に尽力。
岩手県	広田湾漁業協同組合	月１回大潮の満干の際に、特定した海藻などが漁場内に蓄積時は、漁協組合員で漁場清掃活動を展開。また、漁業者グループが中心となって水質調査などに取り組むと同時に、「広田湾漁業協同組合未来につなぐ美しい海計画」の策定や県漁場環境保全士の認定と積極な漁場環境保全活動を継続して実施。
高知県	野乃花倶楽部	漁場内に家庭ゴミ等の不法投棄が常習化していたことから、ボランティアグループとして設立有志により設立。不法投棄は絶えなかった頃に花壇を整備し、春秋と子供たちと花を植え景観を一変させた。また、漁場区域内の清掃等の指導も継続し、学校地域の一斉清掃など地域行事の中心的な存在として、漁業振興に貢献。

漁村活性化のあり方検討委（第1回）を開催

水産庁は、5月20日午前10時から水産庁中央会議室で「漁村活性化のあり方検討委員会」の第1回会合を開いた。

近年、水産資源悪化、漁業就業者の減少・高齢化、魚価低迷や漁業資材の高騰などで漁村は極めて厳しい状況に直面しているが、漁村は漁業者を含む地域住民の生活の場、水産業発展の基盤として極めて重要。生活環境整備や防災力強化等の漁村振興策はこれまでも講じられているものの、厳しい現状に対応して漁村の活性化を図るには、水産業・漁村の多面的機能の発揮や、都市との交流など新たなニーズの高まり等も踏まえて対策を見直す必要が生じている。

このため、検討委員会では、漁村振興のための現行制度の検証・評価を行い、有識者による多角的な議論を行って、国民的な理解を得ながら、今後の漁村活性化のあり方を提言する。

委員は有識者7名で、座長には妻小波東京海洋大学教授が選出された。

会議では、冒頭、山田修路水産庁長官が挨拶した後、本田直久漁港漁場整備部防災漁村課長が、水産業の不振、過疎化・高齢化の進行、漁家所得の減少、生活基盤整備の立ち遅れ、災害に対する脆弱性など漁村が抱える課題と、都市住民や消費者の漁村に対する見方やニーズ、人材育成の必要性等について概説し、続いて、漁村再生交付金、強い水産業づくり交付金及び漁村地域力向上事業の漁村振興に係る事業制度の概要とその活用事例等を説明した。

また、オブザーバーとして参加した北海道、三重県、長崎県の担当者が地域の状況を紹介した。

その後、委員やオブザーバーが漁村の活性化について意見交換し、就業者のための所得確保、定住環境の整備など漁村と漁業の維持・存続に必要な条件や、都市と漁村の交流促進による地域資源の価値創造の取組の必要性などについて意見が出された。

検討委員会の委員は、次のとおり（敬称略）。

小田切徳美（明治大学農学部教授）
小山重幸（㈱日本旅行トムソーヤクラブ事務局次長）
関いずみ（東海大学海洋学部准教授）
堂故　茂（氷見市長）
長屋信博（JF全漁連常務理事）
松本ぬい子（鴨川市漁協代表理事組合長）
妻　小波（東京海洋大学海洋科学部教授）
学研究科教授）
松田　治（広島大学名誉教授）
瀬戸雅文（福井県立大学海洋生物資源学部教授）
大森敏弘（JF全漁連漁政部長）
小野寺勝広（北海道水産林務部水産局水産振興課長）
田中丈裕（岡山県農林水産部水産課長）
小川　浩（大分県農林水産部漁業管理課長）

「海洋・沿岸域における水産環境整備のあり方検討会」が第1回会合

検討会で挨拶する山田長官

「海洋・沿岸域における水産環境整備のあり方検討会」の第1回会合が、6月1日午後2時から水産庁中央会議室で開かれた。

国及び地方公共団体では、平成19年度から新たな水産基本計画及び第2次漁港漁場整備長期計画に基づき、水産物供給システムの基盤構築を目指して総合的・計画的に事業を実施しているが、水産資源の水準が低位で推移する中で、地先海域では個々の地方公共団体による地先増殖場の造成など限定的な整備にとどまっており、現行の整備手法のみでは、水産環境の早急な改善を達成することが困難な状況にある。

そこで、検討会では有識者・行政関係者により、水産環境整備の概念や範囲の捉え方、整備手法の見直し、多様な主体が参加できる枠組づくり、各種事業の一体的・集中的実施のための事業制度の改善等について多角的な議論を行い、国民的な理解を得ながら、今後の水産環境整備のあり方を提言することにしている。

委員は、有識者・行政関係者7名で、座長には磯部雅彦東京大学副学長が選出された。

会議では、冒頭山田修路水産庁長官が挨拶した後、水産庁漁港漁場整備部から漁場整備の現状と課題について資料に基づいて説明し、委員からも資料が提出され、今後の水産環境整備のあり方について意見を交換した。

今後、8月までに3回程度の会議を開催して中間とりまとめを行い、平成22年度に最終とりまとめを行う予定。

検討会の委員は、次のとおり（敬称略）。

磯部雅彦（東京大学副学長・大学院新領域創成科

第35回定期総会開催
――漁港友の会――

漁港友の会（田中潤兒代表世話人）は6月1日、虎ノ門パストラルに橋本牧水産庁漁港漁場整備部長らを招いて第35回定期総会を開いた。

この総会は毎年6月の第一月曜日の午後6時から開催されているもので、本年は第35回目の総会となる。

会議は木田三次世話人の司会進行で進められ、最初に、この1年の間に逝去された渡辺光雄氏、大谷勝信氏の冥福を祈って黙祷を捧げた。

来賓の橋本牧漁港漁場整備部長から挨拶を賜り、続いて、新会員の尾崎雄三氏、粂知文氏、重義行氏、田端竹千穂氏、西裕司氏、平澤博氏の6氏が紹介された。

続いて松岡英二世話人の議長のもとに議事に入り、20年度収支決算、21年度収支予算を原案どおり承認、名誉会員に五十嵐廣氏、屋代昭氏、佐藤馨氏、齋藤政信氏が推薦され、了承された。

続いて恒例の記念撮影を行なった後、一色英夫世話人の進行で懇親会に移り、田中代表世話人の挨拶の後、次の各氏にご健康を祝して記念品が贈られた。括弧書きは欠席の各氏。

☆めでたく卒寿を迎えられた
寺田　杜郎氏

☆めでたく米寿を迎えられた
（井沢　治氏）

☆めでたく傘寿を迎えられた
都築　茂氏
（平野　孝夫氏）
（亀山　恭一氏）
（鳥越　優氏）

☆めでたく喜寿を迎えられた
八木　実氏
長嶋　昭吾氏
（佐藤　稔夫氏）

この春の叙勲で瑞宝中綬賞の栄に浴された坂井淳氏の乾杯の発声の後、それぞれ旧交を暖めつつ和やかな懇談が続けられた。

参加された方々は以下のとおり（順不同・敬称略）

【水産庁】
▽橋本牧漁港漁場整備部長▽宇賀神義宣計画課長▽本田直久防災漁村課長▽岡貞行水産施設災害対策室長

【友の会】
▽寺田杜郎▽坂井溢郎▽吉岡秀夫▽溝口廣之輔▽伊藤博人▽加納久登▽木原昭生▽内田圭介▽神田豊一▽屋代昭▽八木実▽長嶋昭吾▽藍重光▽青木道雄▽伊藤勝一▽一色隆弘▽中村正勝▽成田国昭▽西裕司▽野田昌義▽秦英樹▽平澤博▽福屋正嗣▽松岡英二▽松永喜久寿▽松永務▽三橋宏次▽柳瀬和生▽吉田威▽若月史年

漁港友の会の総会に出席した皆さん

典夫▽尾崎雄三▽大熊克明▽大島登▽大塚敏行▽神瀬哲▽川口毅▽岸野昭雄▽木田三次▽熊本秀樹▽粂知文▽桑原雅子▽小関良二▽小林洋一▽坂井淳▽酒井照雄▽鹿田正一▽篠田邦裕▽鈴木光雄▽須藤茂▽瀬戸山八朗▽染矢康弘▽高木伸雄▽高橋一秀▽高橋昭七▽竹内俊邦▽田中潤兒▽田端竹千穂▽田村安雄▽千田武夫▽都築茂▽中曽

浮桟橋が整備された柴漁港を視察

関東・東海地区漁港漁場協議会
横浜市で開催

平成21年度関東・東海地区漁港漁場協議会が、6月1日（月）午後3時より横浜市の「横浜テクノタワーホテルファミール」において、茨城、千葉、東京、神奈川、愛知、静岡、三重の1都6県から43名の役員、担当者が出席して開催された。

冒頭、吉田英男神奈川県水産振興促進協議会長（三浦市長）は、「これまで永年に亘って漁港や漁場の整備が進められ、現在の漁業の発展に大きく貢献している。関係の皆様の協力に感謝申し上げる。引き続き、漁港の老朽化対策や燃油高騰対策として浮き魚礁の設置による効率のよい漁場づくりなどを期待している」と訴えた。

次に、石黒順一神奈川県環境農政部長の挨拶があり、その後来賓の橋本牧水産庁漁港漁場整備部長（代理・高吉晋吾整備課長）、田中潤兒㈱全国漁港漁場協会会長の挨拶があり、議事に入った。

【議題1】水産物供給基盤機能保全事業（ストックマネジメント）の取り組みについて

整備後の年数が経過している漁港施設の更新や長寿命化を図るための老朽化調査、機能保全計画の策定及び保全工事への取り組みについて、各都県の対応等の報告がなされた。

各都県とも進捗に差はあるものの積極的に取り組んでおり、今後も着実に進めて行くとのことであった。しかしながら、漁港施設台帳の整備精度にばらつきがあるため構造等の把握に支障が出ているケースもあり、台帳のシステム化（電子化）の必要性についての議論がなされた。

また、老朽化調査、保全計画策定等の発注の際の標準歩掛を早く示して欲しいとの意見も出た。

【議題2】最近の漁場整備事業の実績及び今後の方向性について

漁場造成について、各都県の海域や漁業実態に応じた取り組み、今後の対応等について報告がなされた。

その後全体について意見交換が行われた。

翌2日は、横浜市の金沢漁港、八景島シーパラダイスを視察し、昼食後横浜駅で解散して、平成21年度関東・東海地区漁港漁場協議会は終了した。

各県総会

㈳青森県漁港漁場協会会長に越善靖夫氏（東通村長）

㈳青森県漁港漁場協会（会長・逢坂雄一平内町長）は、5月20日午後一時三十分から青森市の「青森県水産ビル」において、第三十四回通常総会を開催した。

逢坂会長の挨拶の後、水産庁漁港漁場整備部長（代理・堀越伸幸計画課総括課長補佐）、青森県農林水産部長（代理・新山英邦水産局漁港漁場整備課長）及び田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が来賓挨拶をした。

立石政男脇野沢漁協代表理事組合長を議長に選出して議事に入り、平成20年度事業報告・収支決算及び平成21年度事業計画・収支予算案等の各議案を満場一致で承認した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新たに越善靖夫東通村長が会長に、奈良岡修一八戸副市長及び吉田満深浦町長が副会長に選任され、植村正治副会長（青森県漁連会長）、原田邦治専務理事が再任された。

㈳岩手県漁港漁村協会

㈳岩手県漁港漁村協会（会長・鈴木俊一衆議院議員）は、5月25日午後1時から盛岡市の水産会館において、平成21年度通常総会を開催した。

鈴木会長の挨拶に続き、来賓の県知事（代理・佐々木敦農林水産部水産担当技監）、県議会議長（代理・大宮惇幸県議会農林水産委員長）、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長から祝辞が呈され、県議会議員等来賓が紹介された。

鎌倉賢一普代村漁協代表理事組合長を議長に議事に入り、すべての議案を提案どおり承認した。

山形県漁港漁場協会富塚会長を再任

山形県漁港漁場協会（会長・富塚陽一鶴岡市長）は、6月1日午後4時から鶴岡市の「ホテル八乙女」において、平成21年度通常総会を開催した。

富塚会長の挨拶に続き、県知事（代理・斎藤亮一庄内総合支庁長）、県議会議長（代理・志田秀紀副議長）、㈳全国漁港漁場協会会長（代理・濱田研一専務理事）が来賓祝辞を呈し、県議会議員等の来賓が紹介された。

田村勇次県漁協常務理事を議長に選出して議事に入り、全ての議案を提案どおり承認した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、富塚会長、五十嵐安哉副会長（山形県漁協組合長）が再任された。

総会終了後、県庄内総合支庁水産課より「21年度漁港・漁場事業実施計画概要」の説明があった。

茨城県漁港協会

茨城県漁港協会（会長・本間源基ひたちなか市長）は、5月21日午前11時30分から水戸市のすいさん会館において第60回通常総会を開催した。

本間会長の挨拶の後、来賓の小斉和宏県農林水産部水産振興課長、濱田研一㈳全国漁港漁場協会専務理事が挨拶した。

本間会長を議長に議事に入り、20年度事業報告及び収支決算、21年度事業計画及び収支予算等の議案は、全て原案通り議決された。

また、全国漁港漁場協会の21年度漁港漁場功績者表彰の対象者として、細川茂氏（前大洗町農林水産課主査兼係長）が決定したことが報告された。

神奈川県水産振興促進協会吉田会長を再任

神奈川県水産振興促進協会（会長・吉田英男三浦市長）は、5月27日午後2時45分から横浜市技能文化会館において、平成21年度通常総会を開催した。

冒頭の吉田会長の挨拶に続き、石黒順一県環境農政部長、田中潤兒全国漁港漁場協会会長（代理・田村安雄常務理事）が祝辞を述べ、吉田会長を議長にすべての議案を提案どおり承認した。

また、任期満了による役員改選が行われ、会長に吉田英男三浦市長、副会長に加藤憲一小田原市長及び浦谷亮一横須賀市長、専務理事に岡彬県漁連代表理事副会長がそれぞれ再任された。

㈳福岡県漁港漁場協会会長に八並康一氏（行橋市長）

㈳福岡県漁港漁場協会（会長・森勘一県漁連会長）は、5月25日午後1時30分から福岡市の「ホテルレガロ福岡」において、平成21年度通常総会を開催した。

森会長に代わり八並康一副会長（行橋市長）が挨拶をした後、来賓の水産庁漁港漁場整備部長（代理・岡貞行水産庁漁港漁場整備部防災漁村課長）、小林信県農林水産部水産局長及び㈳全国漁港漁場協会会長（代理・濱田研一専務理事）がそれぞれ挨拶した。

続いて小柳哲郎氏（福岡県漁港漁場協会副会長・山門羽瀬漁協組合長）に福岡県漁港漁場協会感謝状が贈呈され、畑中鶴見氏（志摩町産業振興課企画監）に全国漁港漁場協会感謝状が伝達された。

瀬戸英男福岡市漁協理事・西浦支所運営委員会会長を議長に選出して議事に入り、平成20年度事業報告及び決算報告、平成21年度事業計画及び収支予算案等の議案を提案どおり満場一致で可決した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、森会長に代わって八並康一行橋市長を新会長に選出、副会長には阿部周一福岡県信漁連会長及び小柳哲郎山門羽瀬漁協組合長を再選するとともに、新たに谷井博美宗像市長を副会長に選出した。

鹿児島県漁港漁場協会

鹿児島県漁港漁場協会（会長・田畑誠一いちき串木野市長）は5月27日午後3時30分から「マリンパレスかごしま」において第61回通常総会を開催した。

田畑会長の挨拶の後、橋本牧水産庁漁港漁場整備部長（代理・佐藤良助防災漁村課総括班長）、伊藤祐一郎県知事（代理・堤清利林務水産部次長）金子万寿夫県議会議長（代理・中村眞副議長）の来賓祝辞があり、続いて漁港漁場功績者として和泊町土木課の重信善一氏、日置市農林水産課の池田敏郎氏に感謝状と記念品が贈呈された。

議長に瀬戸口嘉昭枕崎市長を選出して議事に入り、平成20年度事業報告及び収支決算、平成21年度事業計画案及び収支予算案、会費案を原案のとおり承認した。また役員の補欠選任は行わないことで承認された。

㈳沖縄県漁港漁場協会会長に上原裕常氏（糸満市長）

㈳沖縄県漁港漁場協会（会長・下地敏彦宮古島市長）は、5月21日午後2時から、県水産会館において、平成21年度（第37回）通常総会を開催した。

総会は、下地会長の挨拶に続き、永杉伸彦沖縄総合事務局農林水産部長（代理・根路銘力農林水産部総務課調整官）、比嘉俊昭沖縄県農林水産部長（代理・津波古喜正農山漁村基盤統括監）、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が来賓祝辞を呈した。

下地会長を議長に選出して議事に入り、全ての議案を提案どおり承認した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新たに上原裕常糸満市長が会長に、並里弘安沖縄県漁業協同組合連合会会長が副会長に選任され、志喜屋文康副会長（恩納村長）が再任された。

総会に引き続き平成21年度の功績者表彰が行われ、伊志嶺亮前宮古島市長、西平貴雄前糸満市長、仲村三雄座間味村長の三氏が表彰された。

作品募集

漁港漁場漁村海岸写真コンクール

㈳全国漁港漁場協会・全国漁港海岸防災協会

㈳全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会は共同で、水産庁の後援、㈶漁港漁場漁村技術研究所及び㈳水産土木建設技術センターの協賛で「2009漁港漁場漁村海岸写真コンクール」を行なう。

このコンクールは、美しい漁港・漁場・漁村・海岸づくりをテーマとして、写真を通じ海や漁業及び漁港・漁場・海岸の現状、漁村環境の実態等を広く知らせ、漁港・漁場・漁村・海岸の整備促進の必要性、水産業の重要性について理解を求め、我が国水産業、漁村の振興、発展に寄与することを目的に実施するもの。

応募要領の概要は、次のとおり。

◆応募資格
特になし

◆応募作品
未発表の作品で漁港・漁場・漁村・海岸に関係したもの
（働く漁民、四季や時間で変化する漁港漁場漁村海岸の風景、海の環境、生物の生態、漁村の暮らし、漁港や漁村での祭り・催しなど）
・作品はキャビネ版以上のカラー又はモノクロプリントで組写真可（自然な姿をデジタル加工で修正した写真などは不可）

◆締切り日
平成21年8月25日（当日消印有効）

◆入賞作品
・特選1席＝農林水産大臣賞（1点）
・特選2席＝水産庁長官賞（1点）
・特選3席＝㈳全国漁港漁場協会会長賞、全国漁港海岸防災協会長賞、㈶漁港漁場漁村技術研究所理事長賞、㈳水産土木建設技術センター理事長賞（各1点）
・入選（5点）
・佳作（10点）
なお、入賞者には審査員奨励賞を差し上げます。

◆応募先（お問合せ先）
〒107－0052
東京都港区赤坂1－9－13三会堂ビル8階
㈳全国漁港漁場協会
「漁港漁場漁村海岸写真コンクール」係
TEL03－5114－9981
FAX03－5114－9983
応募要領の詳細は、http://www.gyokou.or.jpをご覧下さい。

漁港往来　自5月1日至5月31日

5月1日（金）
千葉県農林水産部水産局漁港課長居城伸治氏、同課副課長兼漁港整備室中里孝男氏、同課漁港管理室長荒川孝行氏、同課漁港整備室主幹市原清一氏

5月7日（木）
㈱三浦海業公社代表取締役（元三浦市長）久野隆作氏

5月14日（木）
千葉県信用漁業協同組合連合会専務理事田村勝氏、銚子市漁業協同組合常務理事塩野雅博氏

5月19日（火）
岩手県漁港漁村協会専務理事船越穣氏は岩手県へ、濱田専務は福岡県へ出張

5月20日（水）
全国漁港漁場協会田中会長は青森県へ出張

5月21日（木）
全国漁港漁場協会田中会長は沖縄県へ出張

5月22日（金）
全国漁港漁場協会濱田専務は茨城県へ出張

5月25日（月）
全国漁港漁場協会田中会長は岩手県へ、濱田専務は福岡県へ出張

5月27日（水）
全国漁港漁場協会田中会長は静岡県へ、田村常務は神奈川県へ出張

5月29日（金）
全国漁業調査取締船事業協同組合理事長足利健一郎氏、同協同組合前理事長礒野洋志氏

水産庁人事

（6月1日付）

新潟漁業調整事務所資源管理計画官（漁港漁場整備部整備課調整班事業調整係長）永井周